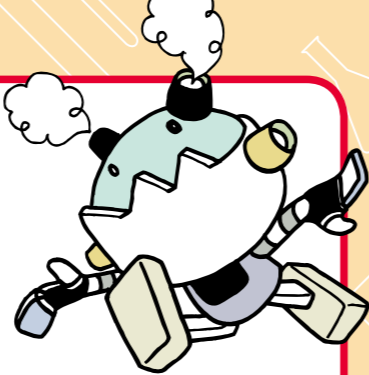


すみなが あそ 墨流しで遊ぼう！

しゅうじ つか ぼくじゅう みず とき もよう かみ そ
習字で使う墨汁を水にたらしただけの時にできる模様を紙に染めて、墨流しで遊みましょう！

じっけん かなら おとな いっしょ おこな
実験は必ず大人と一緒に行ってください。



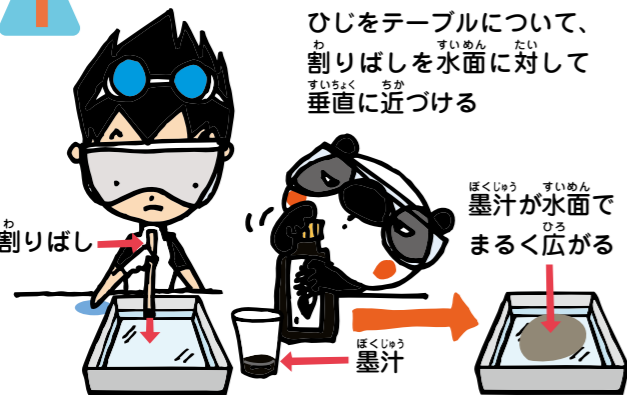
開成中学校・高等学校
宮本 一弘

じゅんび 準備するもの



じっけんほうほう 実験方法

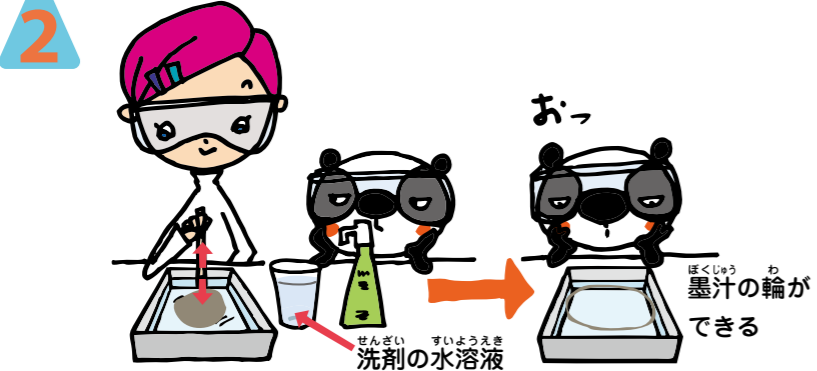
1 トレイに高さ2cmくらい水を入れ、割りばしの先につけた墨汁を水面の中央につける



トレイは良く洗ったものを使うこと

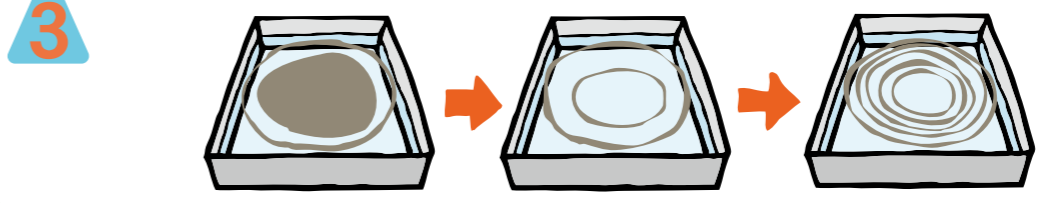
墨汁を水面にドボツとつけないこと。墨汁を静かに水面にのせる感じでつけると、上手ができる

2 爪楊枝の太い方の先につけた洗剤の水溶液を、広がった墨汁の中心につける

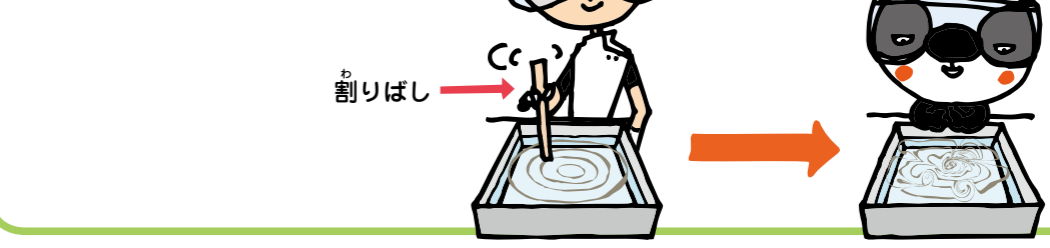


爪楊枝の先を水面につけたら、すぐに上にあげる

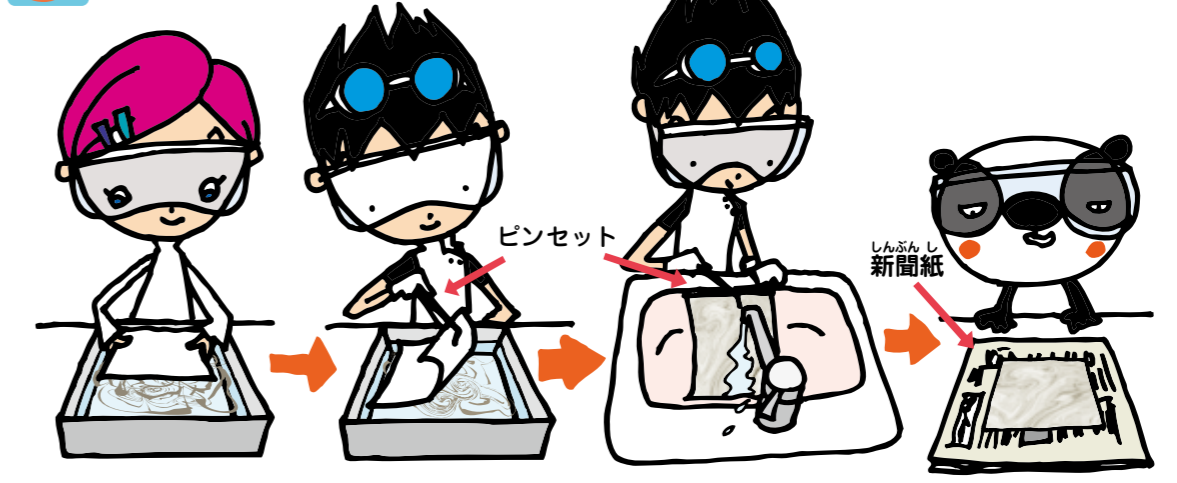
3 じっけんほうほう 実験方法1、2の操作を数回繰り返す



4 わ割りばしで、静かに水面をかき混ぜる



5 かみ紙を水面に静かにかぶせて、ピンセットを使ってすぐにとり出す
紙の表面を流水で軽く水洗いし、乾かす



* 墨汁が水面に残っていれば、さらに模様を紙に染めることができる
* 模様をかえたい時は、もう一度トレイをきれいに洗ってから、実験方法1からはじめる
* 実験が終わったら、残った洗剤の水溶液で、トレイをきれいに洗う

じっけん かいせつ 実験の解説

墨汁を水面につけると、墨汁が水面でまろく広がります。次に、洗剤の水溶液をその墨汁の中心につけます。すると洗剤がさっと広がり、墨汁の輪ができます。これを繰り返すと、輪が何重にもできます。さらに水面を静かにかき混ぜると流線模様ができます。墨汁の黒と黒の間の無色透明な部分に洗剤が広がっているために、模様が見られるのです。はじめは上手くできないことがありますが、何度もチャレンジしてみてください。